

国際交流員の
活動日誌

vol.43



Information

市政だより英語ダイ
ジェスト版を市役所、
総合支所、保原駅、梁
川駅で配布しています。

秋は美味しい新米がいた
だけの季節です。僕はお米
が大好きで、毎日食べま
す。しかし来日する前は
お米の魅力が分からなくて、
ほとんど食べませんでした。
た。外国語指導助手として
福島に来て、伊達地方産の
お米を給食で食べてからお
米の美味しさを理解しまし
た。

その経験で米が自分の主
食になりましたが、進学し
に米国に帰ったら日本のお
米が食べられなくなりまし
た。代わりに米国で人気
がある玄米を食べ始め、好き
になりました。玄米はたん
ぱく質などの栄養がたくさ
んあり、健康保険に入れな
かったその2年間で風邪を
あまりひかなかつたのは、
もしかして玄米のお陰で
しょうか。

今も玄米を家で食べてい
ますが、炊く前に発芽させ
ておきます。GABAや食
物繊維などの栄養が増え
て、更に食べやすくなるか
らです。家で発芽玄米を作
る事は簡単です。基本は炊
く前に玄米を温水（30度、
40度）に約1日浸し、定期
的に水を交換します。自分
の家で普通の日本製の炊飯
器を使用し、美味しく炊け
ます。

発芽玄米作りではお米に
ある命と協力し、お米が最
も栄養的な状態になる事が
好きです。今度、玄米を精
米所に持って行こうと思っ
た時、代わりに健康的な発芽
玄米を作ってみませんか？

地域の魅力
ふる里再発見

救出された文化財

企画展

救出された文化財

10/3(土)~1/25(月)まで
保原歴史文化資料館

梁川町の町史編纂事業は
昭和55年（1980）4月
に始まりました。町史編纂
室を元梁川陣屋敷地内の公
民館分室に設け、町史12巻
と年表・索引1冊、文書目
録・資料叢書32冊を刊行し
て、編纂事業は平成15年
（2003）3月に終了し
ました。その間、古文書・
書籍・民具などの膨大な歴
史資料が町民から提供さ
れ、町史編纂に活用されま
した。事業終了後、歴史資
料は町内の各施設に分散保
管されましたが、町史編纂
室と陣屋敷地内のプレハブ
小屋に保管されたものも多
くありました。

昨年10月12日、台風19号
が上陸し、13日午前1時20
分頃に塩野川は越流し、梁
川町中心部に大きな被害が
発生しました。この際、町
史編纂室・プレハブ小屋保
管の歴史資料も甚大な被害
をこうむりました。歴史資
料の救出は21日から始まり
ました。その後、梁川総合



被災資料の洗浄作業

支所・泉原養蚕用具整理室
に搬入され、歴史資料の修
復作業は現在も続いています。
す。

地域の歴史資料は過去の
暮らしを知ることでできる
唯一の文化財です。身近な
文化財は常に消滅の危機に
直面しています。台風19号
は不意に訪れた危機でし
た。10月3日から始まる企
画展「救出された文化財」
の展示品約30点は、激流に
のまれながらも救出された
文化財です。この展示を通
して、後世に引継ぐべき文
化財の重要性を考える機会
にしてほしいと思います。